



大船渡水産振興センター「復興板」

平成29年8月2日発行 第55号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成29年6月30日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、67.0%となっています。(平成29年6月30日現在)

	災害査定 (H28再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁 港	243	35,125,599	239	32,485,144	31,551,465	90	216
漁港海岸	11	35,443,968	11	19,881,323	15,586,899	44	2
漁 場	2	498,880	2	498,880	498,880	100	2
合 計	256	71,068,447	252	52,865,347	47,637,244	67	220

・ さっちゃんNEWS part 1

<生ウニ衛生管理調査>

6月中旬からウニの開口が始まり、作業日に合わせて衛生管理調査を実施しました。食中毒の発生防止のために、毎年各漁協単位で調査を実施しています。



◆ 作業時の服装、作業道具、作業前の手洗い、使用水の種類などについて聞き取り調査を行いました。



◆ ウニの剥き身は10℃以下の冷水中で保管する事が求められます。各漁家ではペットボトルに水を入れて凍らせたり、凍結した保冷剤を使ったりと色々な工夫が見られました。



2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況



「いわたの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成28年度	築いそ施設	広田湾漁業協同組合
平成29年度	作業保管施設 作業保管施設	綾里漁業協同組合 広田湾漁業協同組合

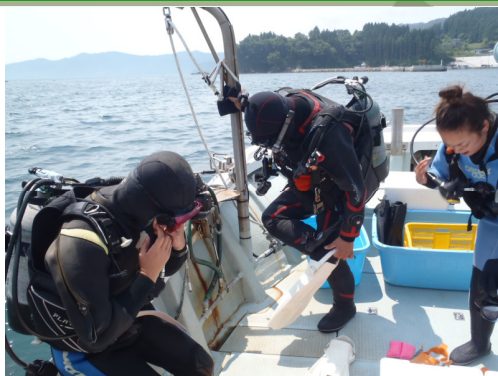
(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成29年1月から6月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

平成29年 (震災後)		平成28年 (震災後)		平成20年から平成22年の平均 (震災前)		前年比 (H29/H28)		震災前平均との対比	
数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
7,198	995,144	9,928	814,541	11,436	1,138,580	73	122	63	87

6月は主に、さば類(643t、45,615千円)、まいわし(461t、33,562千円)、ぶり(244t、54,268千円)、かつお(138t、30,767千円)などが水揚げされています。

・ さっちゃんNEWS part2



越喜来漁協



越喜来漁協と綾里漁協で行われたアワビ稚貝の放流の様子です。アワビ資源回復に向けて十分な放流効果が得られるように、両漁協では潜水による放流をしています。



綾里漁協



『復興版』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター
〔担当 佐藤〕
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp

★★★スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組み職員を盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。